

● 移住交流支援センターだより ●

NPO法人
グリーンパレーの
伊藤・林が
お届けします。



お問合せ
☎676-1177
IP: 2028

空き家相談会を 開催しました。

令和2年度固定資産税納税通知書に、お家長生きプロジェクトについてと空き家相談についての、2種類のパンフレットを同封させていただきました。また5月29日には、役場図書室にて空き家相談会を開催しました。4月以降にこれまで6件の空き家相談があり、相談内容は賃貸や売買、改修工事などについてでした。引き続き、役場産業観光課または移住交流支援センターにて、空き家相談を随時受付しています。お気軽にご相談ください。

次回の空き家相談会

日時：令和2年8月14日（金）
9時～15時
場所：神山町役場2階図書室

新規移住 相談件数

4月…7件
5月…12件



今月のインタビュー

すみはじめ住宅「西分の家」で、現在暮らしている3名をご紹介します。それぞれの移住のきっかけや、シェアハウスでの暮らしについてお話を伺いました。

＜移住のきっかけ＞

高橋 初めて神山を訪れたときは、鮎喰川の透明感に感動しました。その後、神山塾という職業訓練に5ヶ月ほど参加して、卒業後も神山に残ることにしました。西分の家には1年前に引っ越してきて、仕事は市内までバスで通勤しています。

永易 西分の家に入居して5ヶ月になります。前から神山には興味があって、愛媛から何度か遊びに



(写真左から)
高橋 玲奈 静岡県出身
永易 千巻 愛媛県出身
相原 佑子 大阪府出身

鬼籠野西分在住

来ていました。神山でお店をしている方から「住んでみたら？」と後押しされて、引っ越してみようと思いましたが、町内の歯科医院で、受付と助手をしています。

相原 徳島県がやっている林業アカデミーへの入学が決まり、県内で住居を探しました。神山町なら車で通学が可能なこと、また古民家シェアハウスでの生活にも惹かれて、3月から入居しています。山と川の眺めが好きなので市内までの通学も楽しく、豊かな自然の中の暮らしを満喫しています。

＜西分の家での暮らし＞

高橋 西分の家の大きな窓から日々変化する風景を眺めるのがお気に入りです。庭のお花や石垣も美しいです。それまで暮らしていた大阪と違って、神山は自然が豊かで旬の野菜を楽しめ、四季を感じながら暮らしています。

永易 住人同士が協力して、楽しく生活できています。一緒にご飯を作ったり、映画をみたりできるし、体調を崩すと気にかけてくれます。

西分の家はキッチンに薪ストーブがあるなど、設備が整っているのですが、神山に住みはじめる人にはおすすです。

相原 シェアハウス内で自然と役割分担ができていて、それぞれが得意なことや助け合っている感じがします。私は野菜づくりが好きなので、庭で小さな畑を始めてみました。自分の作った野菜を食べてもらえるのと、住人のみんなが野菜づくりに興味を持ってくれるのが嬉しいです。

すみはじめ住宅

「西分の家」とは

西分の家は、鬼籠野地区にある「すみはじめ住宅」として改修された一軒家のシェアハウスです。入居スペースの個室3部屋は、神山への移住を考えている単身者や家族に貸出されています。1回の契約期間は3ヶ月～1年半という条件で、3年間で9世帯10名の方が入居しました。1階にある共有キッチンと共有サロンは、入居者以外の方もイベントや集会に利用できます。



▲すみはじめ住宅「西分の家」